

ICT を活かした活動へ取り組んでいます！

県北地区（福島市、桑折町、二本松市）では、新型コロナウイルス感染予防をきっかけとして、会議や活動の ICT 化を進めています。コロナ禍までは、打ち合わせや会議は必ずどこかの場所に集まって行っていたのが通常。そのため、移動のための時間がかかっていた上、急な都合が入り欠席となってしまうこともしばしばでした。

昨年の春、新型コロナウイルスの感染が拡大し、活動がおもうようにならなくなりました。

ボーイスカウト日本連盟は、ICT を活かして活動ができるよう、様々なツールを用意。県北地区ではいち早く申請を行い、ウェブ会議システムなどを活用したオンラインによる活動にチャレンジしてきました。現在では、定期的な会議をハイブリッド（ウェブ会議システムによるオンラインと参集型の組み合わせ）で行っています。

感染予防のため対面活動自粛中は、会議だけではなく、ボーイスカウト活動自体をオンラインで行う団も。社会情勢の要請に応じて、ボーイスカウト活動も日々進歩しています。

